

# 北方領土問題新聞

解決に向けて

## 北方領土とは？

北方領土は、北海道本島の北東洋上に位置する歯舞群島、色丹島、国後島及び択捉島の4つの島々のことです。総面積は約五千平方キロメートルで福岡県に匹敵します。また最も近い歯舞群島の目黒島までは納沙布岬から約四キロメートルしかなく、僕は見れませんでした。が森がないときには見えるそうです。資源も豊富です。

このような北方領土はなぜもめているのでしょうか？ その経緯を知らう！

## 問題の経緯

### ①日露通好条約



両国の国境は択捉島とウルップ島の間で決められました。



日露戦争の結果、南樺太が日本の領土になりました。

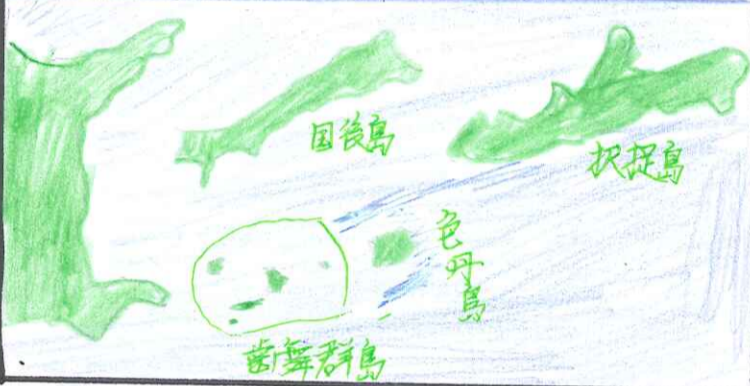
### ②樺太交換条約



日本は千島列島を中ずりながら樺太を放棄しました。



日本は千島列島を放棄しましたが北方領土は含まれていませんでした。



島根県松江第一中学校

## 解決するには...

人政府の対応

祭りの署名活動  
ラジオ放送  
シンボルの作成  
元島民の方と三世代交流  
ロシア人とのびがなし交流

このような活動が地元の高校生を中心に行われています。またこの他にも根室市内に「返せ北方領土」など呼びかけのポスターも多く見られました。



四島での住民交流会の様子

## 元島民の思い

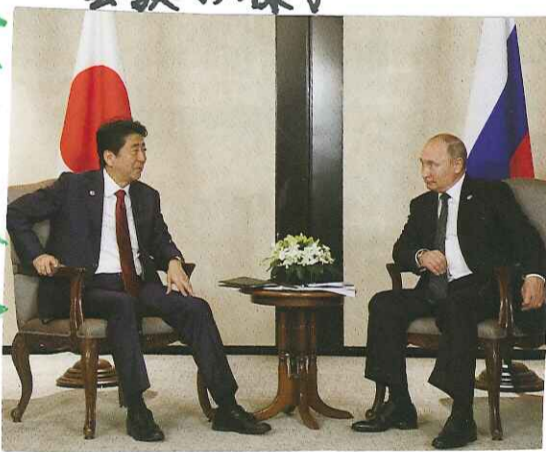
僕は元島民の河田さんの話を聞きました。その話では「資源があるから北方領土がほしいのではなく、昔々から日本人ががんばって開拓してきて自分のふるさとだからとおっしゃっていました。」

## 人政府の対応

2018年、シンガポールでのASEAN首脳会議の際に安倍総理とプーチン大統領との間で23日目を成る日露首脳会談が行われました。

その結果、両首脳は日露共同宣言を基礎として平和条約交渉を加速させること合意しました。

しかし、いまだに交渉は進まず、先は不透明です。



会談の様子

## 人見えてきた課題

まず元島民の高齢化が進み運動の世代交代が必要なこと。そして、日本とロシアでは立場が異なり政府だけでは解決が難しいこと。

## 自分なりの解決作り

町で見かけた本スターは各の意識を高めるにはよいのですが、きつい言葉(返世)を使っても意見がぶつかるだけで何一つ話が進みません。

## 交流が一番大切

今以上に交流を活発にし、そして立場の隔たりをなくし、共同で意見を作成し両政府に提出すれば何かが変わると思います。

そのためには、全国の人に関心を持ってもらうことが第一歩だと思っています。

## 感想

僕は島根県に住んでいて島根県には竹島があり北方領土と同じように領土問題をかかえています。

僕はこの研修を通していろいろな施設に行ったり町を見て根室市を中心に解決に向けて様々な活動が行われていて全員の意識も高まっていることがわかりました。

それに比べて竹島について取り扱われることが少なく、国民の意識も高くありません。

だからこの研修で学んだことをしっかりと竹島問題にも生かしていきたいです。